

2022年度 第43回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門
朗読部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
----	----	------

【審査員】

仲山 豊秋	元NHK大阪放送局（主審）
秋本 みゆき	大阪府立いちりつ高等学校
勝見 昌浩	プール学院高等学校
竹中 泰子	相愛高等学校
濱口 昌紘	アサンプション国際高等学校
安田 知博	放送部インストラクター
清水 明澄	宣真高等学校（計時・原稿チェック）

6人の審査員が100点満点で採点し、合計600点で評価しました。
その上で、規定違反(原稿通り読めていない等)について減点しました。
その得点を基準として、上位3位を優秀賞、続く5人を奨励賞としました。
また、入賞まで30点以内をA評価、60点以内をB評価、それ以降をC評価としています。
審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会 放送コンテスト委員会

2022年度 第43回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門
朗読部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
1	A	今一つ映像が浮かんでこない→声の使い分けを明瞭に。画が分かりづらいシーン。山がなく表現が難しい。いい声。女性二人の区別が最初分かりにくかった。「世の中」が語尾伸びしている。発声をしっかり。滑舌良い。セリフいい。間の取り方がいい。「コンシェルジュ」をはっきりと言おう。もう少し地の文が欲しい。語尾伸び注意。1文目と2文目の関係が分かりませんでした。「なってしまう」など、余計なうねりが出ています。助詞の「を」は「お」と発音します。
2	A	会話文のあり方◎→地の部分の使い方に工夫を！セリフが上手。話の変化がわかりやすい。セリフでない部分に力が入っている。セリフ上手。サトルの一言目が分かりにくかった。途中からわかりやすくなる。後半少し単調。地の部分をしっかり。アクセント。高い発声を使うとより良くなる。もう少し地の文が欲しい。セリフをしっかり積極的に言えるのに、なぜ番号や地の文は低いのかな？「すぐに」の後の「ええて」は、チャレンジとしては面白かったけど、さすがに無理があったかな？放送部アナウンサーの朗読としては、評価しにくいです。自然なイントネーションを身に付けて。
3	A	読み口調が全て同じになっているのでそれぞれのフレーズのもつ意味が伝わらない。文頭が上がりきっていない。場面が伝わりづらい。ちょっとぶつ切り感あり。セリフの語りかけ感、上手。お前が誰なのかよく分からなかった。場面、ここでいいのかな？ナンバーアクセント。キーワードをしっかり立てて。意味のまとまりを意識して。「見えたのだ」のアクセント。ややゆっくり読むとより良くなる。抽出いい。発声を鍛えましょう。「ちっとも」の「ち」は無声化。二尺のアクセントは平板だと思えます。「戯れてーる」に聞こえました。最後の終わり方は、この文ではないほうが良かったかなあ。
4	奨励	ワードやフレーズのタッチの仕方は◎。間の表現に工夫を感じる。ラスト一文が少し大げさでは？ラ行気になる。「つるし」のアクセント。最初の語りが女の子だと分かるのが遅くなる。低音でいい声。発声が良い。単語で表現されているキーワードの表現を工夫して。成長目標アクセント発声良い。抽出良い。速さの変化がうまい。「怠け」の後のプレスは要らないと思えます。「それって」のあたりから、話に分からなくなりました。上手だけど分からない。いちばんつらいパターンだ。
5	優秀	会話文とト書き部分の違いを明瞭に！！強弱表現を意識してみても感情表現が上手。滑舌よい。語りかけになっているのが良い。二人の台詞が分かりやすい。発声が良い。セリフがよく伝わる。発声が良い抽出が良い人物間の会話の区別良い。「そして」のあとのプレスは要らないと思えます。マイクから遠かった。「ゆうこちゃん！」の言い方が難しいね。「そんな顔しないで」は、もっと考えて。「だよ」だけ子供っぽい。最後が横開きでした。
6	B	どのシーンも同じ読みになっているため映像が浮かんでこない。スピードが一定×。速い。この場面を選んでどこを伝えたかったのかが見えない。もっとゆっくり。話すように。ナ行。ぶつぶつ切れている。聞き手を意識してほしい。速さを抑える。間を作る。人物間の会話に表現の差をつける。忙しすぎる。普通のしゃべりを上回る速度になっていると思えます。「なーみ」に聞こえます。「なのに」など、舌を使う音が雑になりやすいです。放送部アナウンサーとしてのトレーニングをしてください。
7	奨励	会話文と地の文の違いがわからない→場面が想像できない。文の終わりに音が消えがち。低くなりすぎる。「のぞきに」「こわばり」のアクセント。文末の息の感じをもう少ししっかり。アクセント注意。自然な発声を。抽出良い。間の取り方が良い。「またよし」が不鮮明です。「覗きに」は平板です。高低を工夫して演出しているのは分かるけど、ちょっと低音に頼りすぎて、説得力が今一つ。
8	欠席	
9	B	各場面の語りが全て同じ→心情や感情の違いが表現されていない。マイクに近い。間やテンポが一定で場面が伝わらない。「駅長さん」はそんなに強調されるべきか。文末もっと丁寧に。単調なリズム。ぶつぶつ切れている。マイクの使いかた。間の取り方に注意。アクセント注意。「抜けると」「散らばっている」のアクセント。自然な息遣いを心がける。速さなどで変化を付ける。マイクに近すぎる。音域を広く使しましょう。「娘あ」に聞こえます。「駅長さん」をそんなに高い音で言えるなら、地の文の音域を広げるのも難しくありません。
10	A	朗読が全て一定。各場面の雰囲気は描けていない。セリフが上手。もう少しセリフの多いシーンを選んで欲しかった。セリフ以外の部分にももう少し工夫を。もう少し高低の音域を使いましょう。同じテンポ。場面が思い浮かばない。速い。発声は良い。間の取り方や相手を意識して。もう少しゆっくり。会話の間をつける。吹かれに注意。「しらぬり？」「ろくちょう」の「く」は無声化。「じゅっけんほど」も間違いではありませんが、書かれた時代を考えると「じゅっけんほど」だと思えます。「後ろから」は平板。

2022年度 第43回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門
朗読部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
11	A	もっと語り口調で伝えて欲しい。言葉へのタッチの仕方は◎。台詞が大げさ。演じている。台詞が多すぎて場面が伝わらない。「男も女も～泣きました」は地の文なのでもう少し客観的に。タイトルと本文の間を空けて。地の文の表現を工夫して。自然な発声を心がけましょう。場面が分かる抽出の工夫が欲しい。題名の後、本文に入るまでのポーズが短すぎ。セリフだけ急に大声というのは、今回のように使い慣れていない機材を使う場合には、うまくいかないと思います。全体として、演出があんまりうまくいっていないと思います。
12	B	読み口調のため主人公や作者の思いが読み取れない。読みが早い。小説でないという表現が難しいのでは？感情表現がうまい。何の話なのか、情景が浮かばなかった。演劇調。抽出に工夫を。朗読を聞いて研究すると良い。発声が良い。もう少しゆっくり。場面性のある作品を選びましょう。本文に入る前のポーズが短すぎ。今回抜粋した箇所は、音声だけで伝える朗読の箇所としては、ちょっと聞き手に負担になる箇所だと思います。語り口は悪くありません。「いただく」と思います。「だく」は生き物やぬいぐるみに使う言葉ですね。「うざかったり」は頭高です。
13	欠席	
14	奨励	画が浮かんでこない→声出しが全て同じになっているため。「ところだろうか」など詰まる場所がある。セリフでないところを強調し過ぎている。場面わかる。事故現場に来ていることがわかるのがもう少し早いと良い。表現しようとする気持ちが伝わった。地の文だけでなくセリフもある作品の抽出。マイクから遠いかな？「小さな」の「さな」など、母音のAが不鮮明な箇所があります。「おすらく」に聞こえます。「闇の中」から急に音量が上がりました。
15	欠席	
16	A	音の使いかた◎→シーンが見えてくる朗読に近い。マイクに息が入る。作品に入り込み過ぎている。マイク近すぎ。文末に息が入っている。マイクの使いかた。表現しようとする気持ちが伝わった。少しやりすぎ？発声良い。もう少し地の文のある抽出が欲しい。番号と作者名が低すぎた。吹かれに注意。「踊れなくなっても」のアクセントが違います。放送部アナウンサーとして朗読しているという意識が必要です。持っている音域を広く使うこと、囁き過ぎずに伝達すること。
17	A	ワンフレーズの意味するところがよく分かる朗読と言える。語尾をためすぎている。セリフが。画面がわかりにくい。発声良い。いい声。表現しようとする気持ちが伝わった。作品理解に工夫を。もう少し場面性のある抽出が良い。よく響く声だけど、母音の発音が、放送部アナウンサーとしては不安定です。「その平行があって初めて…」の一体感がほしいです。吹かれに注意。最後の文だけ急に高く強くなる感じが、あんまり効果的には聞こえませんでした。
18	A	各フレーズの表現が同じパターン→音の三要素のテクニックを生かして。声の明るさが工夫されている。詰まって聞こえるところがある。「夢の中」速い。速くて聞き取りにくい。マイクの使いかた。滑舌注意。意味を考えて。発声良い。間の使いかた注意。もう少しゆっくり。一語一語丁寧に。マイクに近すぎる。吹かれに注意。「化粧していた」など、高止まりがあります。「あるが」など、文末以外の助詞が下がりすぎている箇所があります。「私は白から尋ねずに」？聞き取れません？放送部アナウンサーとして朗読しているのだから、明瞭な音で伝達する努力をしてください。
19	B	声出しが甘い→滑舌の悪さになっている。ブツブツ切る喋りは朗読に適さない。マイクから少し遠い。声の高低が一定すぎる。語尾をはっきりと。「たつじん」などの滑舌。「殺された」などのアクセント。ぶつ切り。発声注意。文のまとまりを考えて。滑舌注意。抽出良い。句読点に惑わされず流れの良い読みを。「あのんな」に聞こえます。「いったいどんな反応を示すだろう」でひと塊です。「誰もがみんな」の次が聞き取れません。吹かれに注意。母音のoの発音を明瞭にしてください。
20	A	会話文とト書き文の違いがわからない。見えてくる→アクセント×。サ行が多かったのにはっきり読めていてよかったが、はっきりと読むことに集中しすぎて少し不自然。地の文と会話文との差がない。発声良い。少し語尾が伸びるのが気になる。抽出は良い。速さ良い。場面性のある抽出を。タイトルコールと会話文の音の高さが違いすぎる。「良く知っている」の「くし」は無声化。「おいしそうに」の「し」も無声化。「かのように」など、付属語のアクセントが残っている箇所があります。

2022年度 第43回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門
朗読部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
21	A	もっとワードに応じたしゃべりができるはず。音の三要素の活用を。台詞以外に感情がこもりすぎている。間の工夫が欲しい。サ行が詰まって聞こえる。文末をしっかりと落とす。サ行。場面の切り替わるところに間が欲しい。文末を下げて表現しようという気持ちはつたわる。マイクの使いかた注意。文の解釈を工夫するとさらに良い。速さ良い。抽出良い。力を抜いて自然な発声を。母音の発音が横開きになっていて、放送部アナウンサーの朗読としては評価しにくいです。 「しーんと静まり返る」と同じように、「かーんと冴えかえって」をまとめて言うといいと思います。「出て行く」で急に高くなりました。そんな声が出せるなら、前半から使ってください。
22	奨励	各フレーズの心情が聞き取れない。強弱・高低・スピードの違いを表現してほしい。たて続けに読むところ、セリフ、他の部分等、読む速さにもっと違いが欲しい。場面わかる。前半、少し聞き取りにくい。後半分りやすい。文末を下げて。抽出いい。地の文とセリフの使い分けに工夫を。速さ良い。台詞うまい。もう少し地の文のある抽出を。吹かれに注意。「父親と母親の性分」のあたり、ずり上がってしまいました。「ややこしい」が不鮮明。「食べ終えた」は中高のほうがいいと思います。「たでおびなが変わる」に聞こえます。最後の文は要らなかったのでは？
23	優秀	それぞれの人物の違いがよく分かる。セリフの表現がうまい。マイクにもう少し近づいて自然な姿勢で読めると良かった。「なみや」が「なみあ」に聞こえる。台詞上手。間の使いかたも良い。いい声。間が良い。地の文も台詞もよく表現できている。発声良い。速さ良い。抽出が良い。「本当に大丈夫なの」「普通の生活に戻れるの」など、クレッショントに違和感があります。「大切な」の「せ」がthになってしまいました。さだゆきの言葉、文字を読み上げているように聞こえます。「本音」をもっと丁寧に扱うべきでは？
24	優秀	シチュエーションの違いが音声に還っていない。会話文の読み方◎。上手になりそう。はっきりよめていて良い。台詞と地の文との違いをもう少し勉強したい。聞きやすい。ダ行注意。場面わかる。発声・表現ともに良い。キーワードの工夫ができればさらに良い。発声良い。抽出良い。「子供たち」の下がるポイントが少しずれています。「やりたいこと」は平板のほうがいいと思います。「謝った」が下がりがすぎた。「思い描いた」が読み口調でした。「ねんでけれ」に近い音になった。
25	奨励	会話文と地の文との違いをもっと明確に！！地の文をより語り口調で！！場面が想像しづらい。どこを伝えたいのか明確に。マイクが近い。ナンバーコール良い。サ行注意。男の名前が曖昧。終わりはそこでいい？発声とマイクの使いかたに工夫を。表現しようとする気持ちが伝わった。サ行は丁寧に。抽出よい。マイクに近すぎるかなあ…？「来てもらった」の後が聞き取れなかった。「しっかり」の「し」は無声化。「許される」の中身は、どこからどこまでかな？全体が少し息っぽく子供っぽくなったと思います。
26	B	滑舌の甘さが状況の分りにくさになっている。もう少し声質が生きる場面で聞きたかった。囁いている。ラ行注意。「ペダル、確認」の滑舌。発声注意。滑舌注意。「霧が漂っていた」「ペダル」の滑舌。発声良い。息を吸う吸う音。息っぽさが気になる。放送部のアナウンサーとして朗読しているので、発声を安定させてください。「深呼吸」の直前の呼吸音が微妙でした。「足に」の「に」など、舌を使う音が不安定です。
27	A	会話文が語り口調になっていない。セリフが少し大げさ。音の高低に変化を。滑舌の練習を「あなた」の言い方がよかった。ラ行が甘い。母音と子音がひっついていて。地の文に工夫を。相手を意識してほしい。セリフの表現に工夫を。抽出をよく考えましょう。場面がいまいち掴みづらいです。タイトルのアクセントに違和感がある。病人を気遣うときは、急に大声になるの？しかもマイクに近づいたので、かなりびっくりしました。「分かったな」で終わる長いセリフ、そんなに冷静に言ったかな？余裕が無い状態で絞り出した言葉では？
28	B	心情の息遣いを感じない→棒読みでフラットに読んでいて。詰まって聞こえるところが多い。場面が伝わりにくい。どこを伝えたいのか見えない。速い。音の高低を使えていない。場面が分りにくい。登場人物の人間関係がわからない。発声をしっかり。相手を意識して。朗読研究をしてみましょう。高い発声を心がける。ゆっくり読む。緩急をつける。抽出△。何を出さなかった？聞き取れませんでした。この作品を読んだことが無い人が理解できる箇所を抽出してください。「女だった」など、語尾で息を吐きだすのが癖になっていると思います。
29	B	コメントに感情移入がない。→フラット・平板な喋りになっている。読み過ぎている。アクセントに間違いが見られる。もう少し自然な発声を。ナンバーコール、元気よく。もう少し、話すように読みましょう。速い。場面がわかりにくい。発声をしっかり。朗読研究をしてみましょう。速さを工夫。間をとる。「僕」が話しているからといって、普段より低い音にして男っぽさを表現しなくていいです。放送部のアナウンサーとして朗読しているという意識がほしいです。自然なイントネーションを身に付けて。
30	A	滑舌が甘い。スピードが同じ語りになっている×。感情表現がうまい。伝わりづらい場面を選んでいる。ダ行注意。速い。アクセント注意。マイクの使い方。アクセント注意。表現しようとする気持ちは伝わった。アクセント。場面性が伝わる抽出を考える。読み始める文が、予習していない人には不親切な場所だったと思います。「振り返れば」の後が聞き取れませんでした。